◆仕訳区分とは

（画面例はすべて「PCA 公益法人会計シリーズ　バージョン DX」を使用しています。）

仕訳データは、その入力方法により月次仕訳と決算整理仕訳（月初・1 次・2 次・3 次）に区分されて登録され、これを［仕訳区分］といいます。

［仕訳区分］は、帳票出力時に、この区分ごとに出力するか否かを設定することができます。

月次仕訳とは、「データ入力」にて入力した仕訳データです。

決算整理仕訳とは、「決算処理」－「決算整理仕訳入力」にて入力した仕訳データです（入力時に、月初・1 次・2 次・3 次を選択します）。

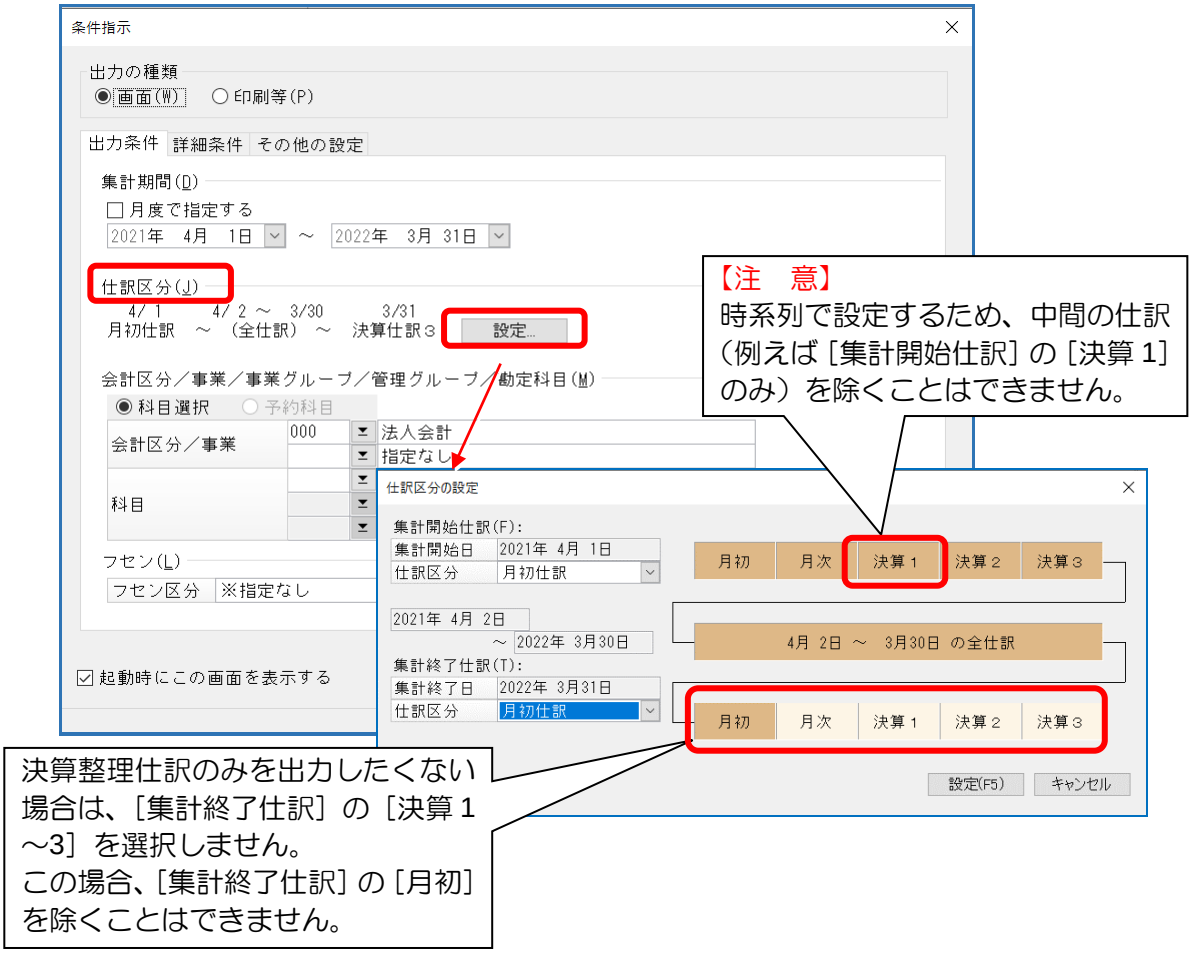
※「データ入力」－「簡単配賦入力」「直接配賦入力」「一括配賦処理」では、［設定］－［仕訳区分］より選択できます。

※「伺書」から作成したデータは「伺書転送」の際に［連動仕訳区分］より選択できます。

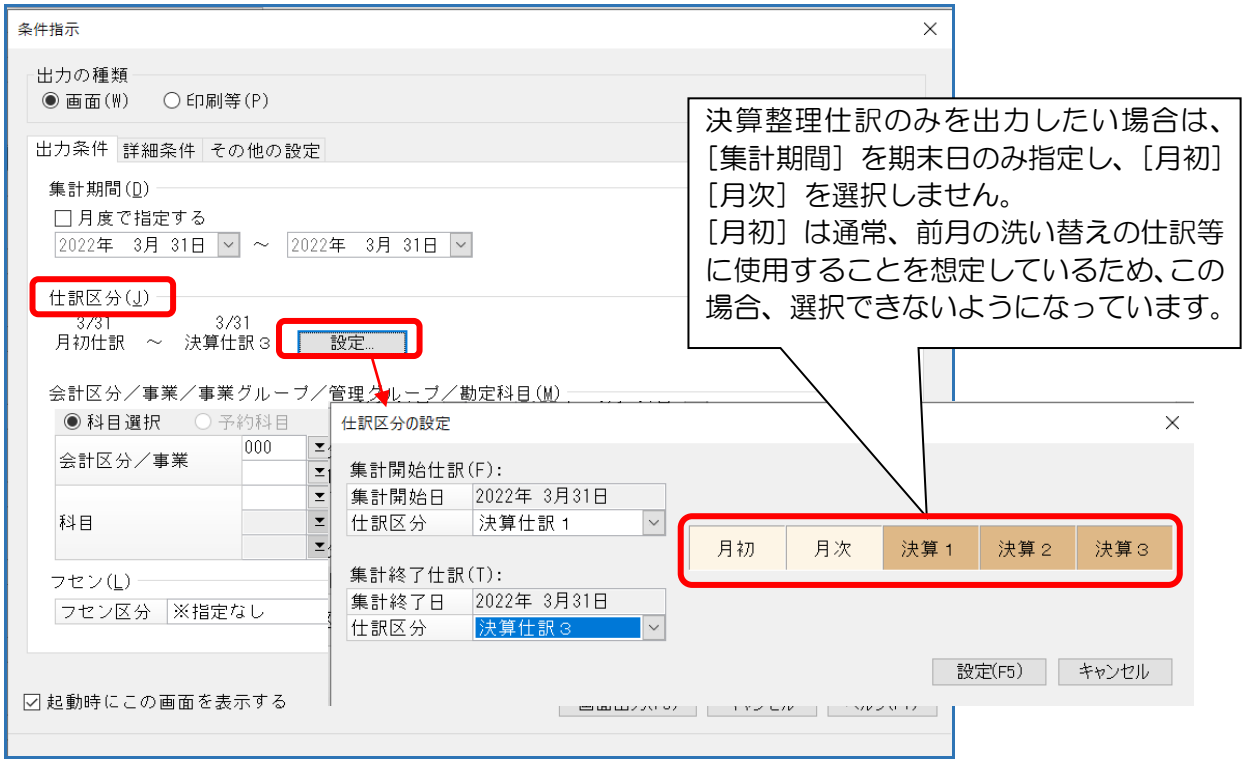
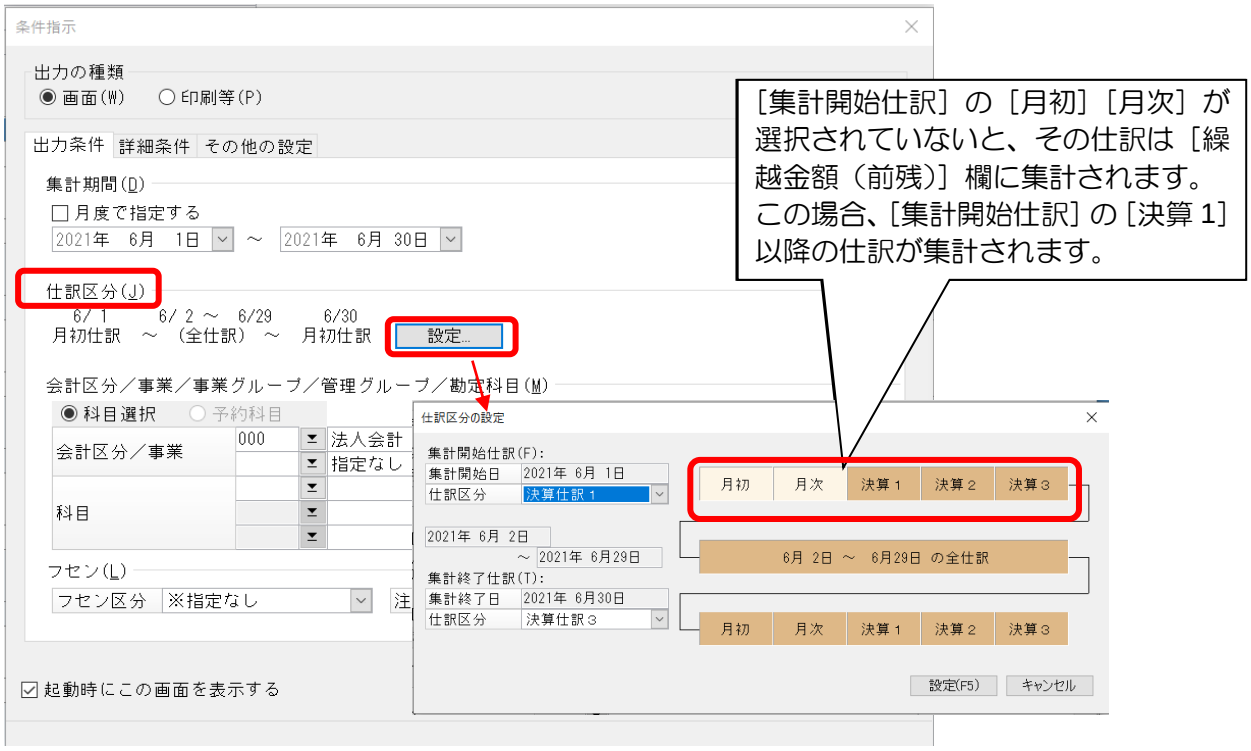
【設定方法】

「総勘定元帳」などのツールバーの［集計条件］ボタンをクリックし、［仕訳区分］の［設定］ボタンをクリックします。

（例 1）決算整理仕訳のみを出力したくない場合



（例 2）決算整理仕訳のみを出力したい場合



（例 3）集計開始日のデータが、［繰越金額（前残）］欄に集計されてしまう場合